

沖縄農業研究会ミニ・シンポジウムの案内
ーバイオ炭を用いた農業，環境およびエネルギーのイノベーションー

沖縄農業研究会では，バイオ炭活用に関するミニ・シンポジウムを次のように開催します。バイオ炭の優れた能力による農業・環境・エネルギーのイノベーションの可能性について一緒に考えませんか！

沖縄農業研究会 会長 上野正実

主催：沖縄農業研究会

協力：琉球大学農学部バイオ・エコシステム研究グループ，NPO 亜熱帯バイオマス利用研究センター

日時：平成29年10月16日（月） 14時30分～17時50分

場所：琉球大学農学部 207室

趣旨：沖縄において，サトウキビの搾りカス・バガスを中心にバイオ炭を製造し，農業生産，環境改善（CO₂固定・悪臭抑制），および，エネルギーシステムにイノベーションを引き起こす可能性について検討する。

プログラム：

開会のあいさつ

特別講演 バイオ炭・酢液利用の現状と今後の展望

明和工業株式会社 社長 北野 滋 氏

話題提供

農業・環境・エネルギー問題解決に向けたバガス炭の活用

琉球大学農学部 教授 川満 芳信 氏

食べるバガス炭の開発

株式会社カタリスト琉球 稲福 直 氏

虫害紅イモの炭化利用による循環型農業構築と環境改善に向けた試み

読谷村役場・NPO 亜熱帯バイオマス利用研究センター

ディスカッション サトウキビバイオマス等の炭化とバイオ炭活用に向けて

閉会のあいさつ

情報交流会

琉球大学北食堂（予定） 18時～20時